



虫の観方から世界の見方を知る 養老先生の虫展

虫 虫 虫? ? ?

養老先生とみんなの虫ラボ

令和6年 7/8 月 → 9/1 日

開館時間：午前10時～午後4時30分(入館は閉館30分前まで) 会期中無休
観覧料：一般1,500円 小中学生1,000円(小学生未満は無料)

鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム



〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下2-1-53
◆JR横須賀線・江ノ島電鉄線「鎌倉駅」下車 徒歩10分
◆当館には駐車場・駐輪場はございません。
公共交通機関をご利用ください。

主催 有限会社 養老研究所

特別協力：宗教法人 鶴岡八幡宮、鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム
展示協力：株式会社 JMC、株式会社 TSDO
東京大学総合研究博物館講師 矢後勝也
蝶類学会会員 原田基弘、鱗翅学会会員 浅野勝司、露木繁雄
展示制作：株式会社乃村工藝社、一般社団法人ネイチャーポジティブ
Tokyo Bug Boys 平井文彦、法師人響(展示監修)
アマミヤデザイン

後援：読売新聞社、鎌倉市、鎌倉市教育委員会
協賛：積水ハウス株式会社、株式会社モンベル、フマキラー株式会社



虫の観方から世界の見方を知る養老先生の蟲展

虫？？ 虫？？

養老先生とみんなの虫ラボ

虫展です。虫は身近に見られ、子どもにとってはとても親しい生きものです。しかもじつにさまざまな種類があって、生物の多様性を実感できる良い実例です。私の子ども時代には昆虫はいたるところにいたのですが、1990年から2020年までの間に全世界でその七割から九割が減少したことが知られています。こうした状況を含め、

昆虫の世界の在り方を単なる情報ではなく、実感として体で感じてもらうため、自分自身の活動を集約して皆様に周知していただく展示を考えました。昆虫だけが自然ではありませんが、生態系の大きな要素として、植物や菌類、他の動物との関係も深く、昆虫なしには地球上の生命の維持は考えられません。自然の実際の姿と私自身の実感をさまざまな形でご紹介します。

養老孟司

ソウムシ Canoixus



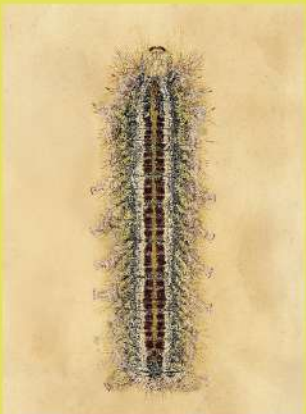
蟲アーティストの作品



館野 鴻《つちはんみょう》



佐藤正和重孝《メガソマルスのトルソ》



桃山 鈴子《タケカレハ》



横山 寛多《送別》

養老先生の標本コレクション



養老昆虫館・標本コレクションより



標本観察テーブル

蟲から見た世界 / 特殊撮影映像・虫の音、匂いなど体験型展示も多数!

会期中のイベント

お絵かきワークショップ、標本撮影ワークショップなどの関連イベントの開催を予定しています。

参加方法・詳細は各ウェブサイトで順次公開いたします。

お問い合わせ先 mushi.hatena.info@gmail.com

養老先生
に会える
かも?

こちらより
ご確認ください▷



MUSHI.HATENA



note



鎌倉文華館
鶴岡ミュージアム



養老孟司 (ようろうたけし)

1937年、鎌倉市生まれ。1962年、東京大学医学部卒業後、解剖学教室に入る。1989年、『からだの見方』でサントリー学芸賞を受賞。1995年、東京大学医学部教授を退官し、同大学名誉教授に。著書に、『唯脳論』『身体の文学史』『人間科学』『バカの壁』『死の壁』ほか多数。『バカの壁』は460万部を超えるベストセラーとなり、2003年の新語・流行語大賞、毎日出版文化賞特別賞を受賞した。趣味は昆虫採集。現在は、多分野で活躍しつつ、東南アジアを中心に昆虫の世界を探索する日々を過ごしている。

鎌倉文華館 鶴岡ミュージアム
〒248-0005 神奈川県鎌倉市雪ノ下 2-1-53

- JR横須賀線、江ノ島電鉄線「鎌倉駅」下車 徒歩10分
 - 当館には駐車場・駐輪場はございません。
- 公共交通機関をご利用ください。

鎌倉文華館
鶴岡ミュージアム
Tsurugaoka Museum, Kamakura

